

国語

平成30年度調査問題

3 出題のねらい▶第3学年までに配当されている漢字を文脈に即して正しく書くことができる。

次の_____をつけたカタカナの部分にあたる漢字を書きましょう。
理科の学習で、かんデンチのつなぎ方について調べた。

正答:電池 正答率:52.8%

【この問題を間違えた理由についての分析】

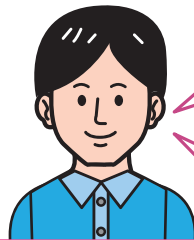
この問題の誤答の中で最も反応率が高いのは、「電地」で34.0%です。この誤答の要因として、なぜ「池」が使われているのか理解できていないことが考えられます。「池」が「何かをためて、いれておくところ」という意味をもつことなどから関連させて理解することが大切です。

平成24年度には、「貯水チ」として出題していますが、「池」と正しく書けた児童の割合は24.5%でした。「池」の音読み「チ」について理解が定着していないことが分かります。

家庭でも挑戦！

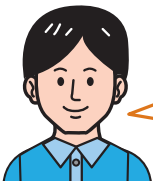
身の回りの言葉について、その意味や成り立ち、使い方などについて話し合ってみましょう。

例えば、右のような
問いかけ方で、
たずねてみましょう。



なぜ、この漢字を使っているのだと思う？

この言葉の意味知ってる？

家庭での
取組例

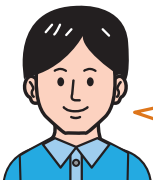
ねえ、なんで「実験」の「験」は、「うまへん」なのかな。
馬と何か関係があるのかな。



「験」は、もともと「馬を集めて善しあしをためすこと」という意味だったんだ。
というのも、「験」という字の右側の部分には、「たくさんの人やものが集まる」と
いう意味があるからなんだよ。



もともとは「馬のテスト」という意味だったんだね。



「験」と右側の部分が同じ漢字は、他にもいろいろあるよね。



「検査」の「検」という漢字があるよ。「たくさんの人やものが集まる」という
意味と、「きへん」の意味が組み合わさった意味になるのかな。



漢字辞典で調べてみると、おもしろいことが分かるかもしれないね。